

## 研究に関する情報公開(オプトアウト)

当院では、下記の研究を行います。本研究は、国が定めた指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象となる研究対象者全員の方から個別に、直接同意を得る必要がございません。つきましては、インフォームド・コンセント(説明に基づく同意)を省略する代わりに、研究情報をホームページで通知・公開し、研究対象者等が拒否できる機会を保障致します。

本研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、問い合わせ先へご連絡ください。

研究計画名:帯状疱疹患者における帯状疱疹後神経痛のリスク因子の解析

当院の研究責任者:

研究責任者:(所属) みさと健和クリニック 皮膚科  
(氏名) 深澤 毅倫

研究実施代表者:(所属) みさと健和クリニック 皮膚科  
(氏名) 深澤 毅倫

本研究の目的:

帯状疱疹は日本国民の半数以上が生涯に罹患する疾患であり、コモンディジーズです。多くは、後遺症を残さずに治癒しますが、数十%の割合で、帯状疱疹後神経痛(PHN)に移行します。PHNに移行すると、疼痛が数年も持続することもあり、QOLは低下するため、その移行リスクに応じた早期の治療強化が重要となります。近年、帯状疱疹ワクチンが定期接種となり、アクセスは向上しましたが、PHN移行因子については、まだ良くわかっていない占も多いです。そのため、本研究により、その移行因子、また予防に役立つ因子などが同定されることで、皮膚科診療の質向上に貢献できると考えられます。

研究期間:2026年6月19日~2030年3月31日

研究方法(使用する試料・情報):

- ・対象となる方:各施設を受診した、帯状疱疹患者さん。
- ・情報の取得方法・情報の種類:帯状疱疹患者において、年齢や性別、合併症などの背景因子に加え、内服薬や用いた鎮痛薬などの内容により、どの程度、PHNへの移行リスクが異なるのかの検討を行います。
- ・利用する者の範囲:当院および各施設の研究実施者、責任者。
- ・外部への試料・情報の提供:共同研究施設にて解析を行います。
- ・個人情報の取り扱い:

得られたデータは、個人が特定されない形で集計・分析し、研究成果を発表する際にも個人情報明らかになることは一切ありません。

本研究の資金源(利益相反)

:報告すべき利益相反関係にある企業・団体などはありません。

お問合せ先担当者:(所属) みさと健和クリニック 皮膚科  
(氏名) 深澤 毅倫

〒341-0035 埼玉県三郷市鷹野 4-510-1

電話:048-955-8551(代表)